

# じもと森林(もり)あげ隊の活動報告 ～地域に根ざした森林管理署を目指して～

留萌北部森林管理署 総務グループ 石倉 悠裕

## 1. 背景・目的

留萌北部地域は、これまで林業があまり盛んでないことから、地域の森林への関心が低く、森林環境教育を行うボランティア団体も多くありません。そのような中、森林への関心を高めるためには当署が外に向けての活動を積極的に行う必要があります。地域との関係を深め地域ニーズの把握及びその問題解決への貢献を目的とし結成した「**じもと森林(もり)あげ隊**」の活動から、今回は小中一貫を目指した森林教室の取組を紹介します。



じもと森林あげ隊活動の様子

## 2. 初山別小学校を対象とした森林教室

町との話合いの中で初山別地域では若者流出が深刻な問題であるとわかりました。そこで、「若手流出の防止」をスローガンにし、国有林としてできることを考えた結果、まずはフィールドを活かした森林環境教育を通じて**郷土への愛着**を持ってもらうことに至りました。そこで**子供の成長に合わせた森林環境プログラム**を初山別小学校に提案し、1年生「秋を見つけに行こう」、2年生「生きものをつかまえよう」という授業の時間を頂きました。

## 3. 活動の内容と結果

### <1年生「秋を見つけに行こう」>

地元の自然を感じることを目的とし、「秋を見つけに行こう」というテーマで落ち葉を使った飛行機作りやドングリを使った工作を行いました。

### <2年生「生きものをつかまえよう」>

地元にとどのような生物がいるか、また地域の自然環境への理解を深めることを目的として、国有林に入り、様々な生きものを捕まえ生息環境を再現して飼育することとしました。(雨天のため中止)



秋のものを使った木工作

1年生からは「楽しかった。(作った人形を)持って帰ったらお母さん喜ぶだろうな」といった声があがりました。また、「いろいろな種類の葉や木の実があることを初めて知った。もっと知りたい」という意見もあり、子供たちに豊富な資源が身近にあることを知ってもらえ、郷土への愛着を深めるきっかけになれたと感じました。

2年生については、実施できなかったものの非常に残念がっていたと担任から伺い、地元の自然環境に対して興味を持っていると感じました。反省点として、今後は天候に左右されないプログラムを用意しようと思います。

## 4. 今後の展開

今後は初山別小学校との繋がりを強化し、継続して森林教室を実施し、全学年にまで森林教室を拡大し、繰り返し行うことで地元への理解を深め、郷土への愛着を育み、将来的に地元に残りたくなるような意識作りにつなげたいと思います。

今回、「じもと森林(もり)あげ隊」として活動を行ったことで、当署が行っている活動に賛同して頂けた方々がいました。今後はそのような方々とともに各町村での森林教室等の拡大を図り、地域のニーズの把握とその解決に向けた検討を重ね、**地域に根ざした森林管理署**を目指します。